



ホームページ作成から
営業戦略まで多角的な
支援が成果を上げる

■ 店舗のホームページが消失

祖父母の代からここ町屋の地でかばんの製造や販売を當る家に生まれた齋藤賢司さん。

自身も店を繼ごうと学校卒業後は、かばん店内に就職して修行し、「作る・売る」の技術を身につけてきた。そして家業を承継し業務をかばんの加工とフルオーダー、リメイク修理に絞った店舗にした。店名も「齋藤カバン店」から「バッグ工房 ヴィドゥルス」に変えた。

ヴィドゥルスはラテン語で「革の袋」という意味があり、山羊・羊などの動物の皮を鞣し、革にしたという袋がモチーフになっている。

従業員は奥様と2人。「妻は、もともと縫製の技術があり、結婚前からブルゾンなども良く作ってくれました。店ではリメイク修理とフルオーダーの作業を任せています。」と齋藤さんは話す。

振興公社との出会いは奥様が商人大学校を受講したことから始まる。個店を夫婦で続けていく上で、不安を感じ、今後のために学んでおいたほうが良いと考えて参加したという。

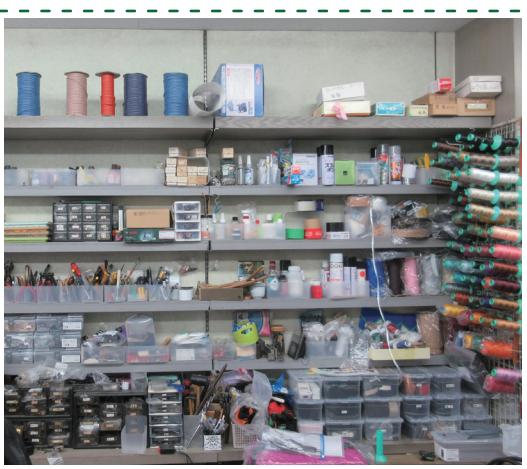
「その頃、ホームページのデータが私のミスでサーバーを更新した際に消えてしまつたのです。そこからの依頼もありましたし、今まで時間をかけて内容の濃いものにしてきたつもりでしたのでショッ

クでした。」と齋藤さんは振り返る。途方にくれた際に思い出したのが、振興公社の商店街パワーアップ作戦だった。「新しくホームページをゼロから作るなら、スマートフォンの閲覧者に対応したものを作りたい。」と思った齋藤さん。

その要望に応じて支援がスタートした。

コンセプトから 価格の表示まで改善し、 受注も回復

支援ではまず課題を整理し、コンセプトの見直し、ホームページのリニューアル、働き方の変革を進めていくことになった。コンセプトの見直しでは同店の歩み・齋藤さん夫婦の人柄など強みと弱みを整理し、特別な想いを持つかばんや



お気に入りのバックの修理、ブランドバックを今のデザインにリメイクするなど、他店では断られるような様々な文に技術の高さできめ細やかに対応できること、修理を終えたバッグを手にしたお客様の声・感想などを訴求した。

斎藤さんの技術力の高さを示すのが、ミニミニランドセル。「子どもたちが小学校を卒業する時にランドセルの素材を使ってミニチュアサイズを作る業者はいますが、うちでは細部までものランドセルと同じように再現します。あくまで技術の高さを知つていただくために紹介しています。」お客様の思い出のバッグを大切にしたい、という印象が伝わるようなページ・お店にすることをアドバイスした。



ホームページのリニューアルではコンテンツ内容だけではなく、検索で上位に来るよう、SEO対策についても手が打たれた。またユーザーがどういうところを見て離脱しているかを分析し、内容のチェック、改善も細かく行われた。

「自分でホームページを作った経験があり、専門用語も知つていましたので、ある程度はわかっているつもりでしたが、それは既に昔の常識であることに気づかされました。」

さらに価格表に対しても再検討し、サンプル写真とともに掲載し、よりシンプルでわかりやすい表示に変えた。また、納期を選択制にし、短納期対応の場合は割増料金を設定することで、お客様に納得いただいた上で客単価が上がると共に、スケジュールの見通しも立てやすくなつた。

これらの取組を通じ、売上は新しいホームページを立ち上げる中で徐々に回復していく。

会計の電子化や休日の設定まで幅広く支援

新しいホームページを立ち上げることで遠隔地だけではなく、たまたま地元地域でこの店舗のことを知つたお客様も増加。2019年末現在で売上は旧ホームページ時代を上回り、リメイクは、3ヶ月待ちの状態となつていい。

さらに経理の効率化についても指導を受け補助金を活用して、電子会計システムも導入。その結果、日々の現金締め・帳票入力作業が軽減されると共に、年末調

整もスムーズに行われるようになつた。

多忙な日々が続く中で課題になつたのは休日の取り方。納期による価格設定・会計システム導入による省力化に加え、店舗の来店客数・問合せが少ない日時を集計するようアドバイスし、生活リズムなども考慮した上で毎週月曜日を定休日にすることもできた。定休日をきちんと設けることにより、仕事とプライベートのメリハリもつき、モチベーションの向上にもつながつていいという。

「ホームページの制作から価格、働き方まで支援していただき、本当に感謝しています。今後は、これを基板にオリジナルバッグの製造や販売なども考えていいたい」と斎藤さんは展望を話す。



斎藤賢司さん

Information

店名／バッグ工房 ヴィドウルス
業種／バッグリフォーム・リメイク・
かばん修理
所在地／荒川区町屋3-8-20
営業／10:00~20:00
電話／03-3895-4035
HP／<https://vidulus-bag.com/>
【活用プログラム】
商人大学校
商店街パワーアップ作戦

